



教師と児童・生徒の相互作用

生命環境学部 生命科学科
准教授 坪田 雄二 (つぼた ゆうじ)

連絡先 県立広島大学 庄原キャンパス 2407 研究室
Tel 0824-74-1840 Fax 0824-74-1840
E-mail yuji@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 教育場面における社会心理学的研究

キーワード： 教師期待効果、児童の回答に対する教師のフィードバック

●研究内容

子どもの学力や性格、動機づけなど多方面にわたって影響を与える存在が教師であり、教師の行動によって子どもたちは大きな影響を受けていると考えられる。それでは、教師の子どもたちに対する行動はどのような要因によって生起しているのだろうか、あるいは教師の行動は子どもたちにどのように受け取られているのだろうか。教師と児童・生徒の相互作用の背後に存在する要因を解明し、それらがそのような影響を与えているのかを明らかにすることが目的である。

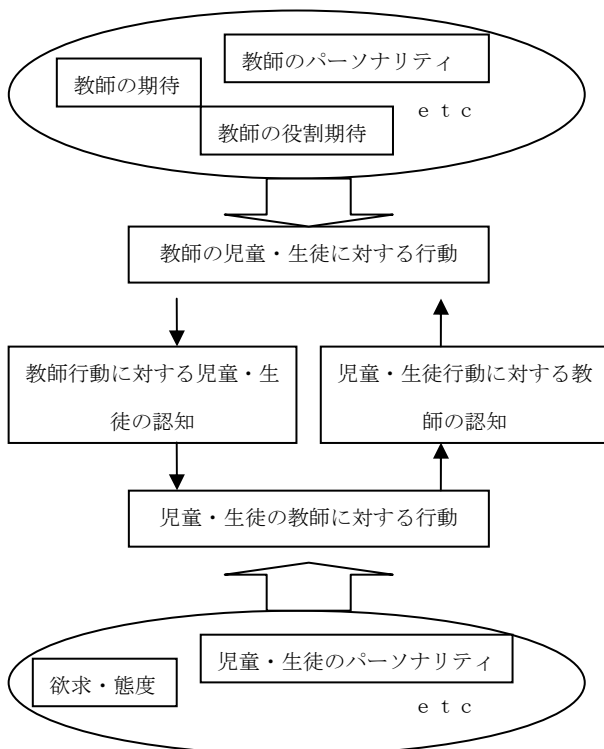


図 教師と児童・生徒の相互作用の概念図

これまでの研究例

- 教師の期待および感情が教師の非言語的行動に与える影響
→ 非言語的行動における対人的期待の表出には、好悪感情が媒介しているという仮説を検討した。その結果、期待と好悪感情の両者によって期待を抱くことによる非言語的行動の違いが生じるという因果関係の存在を示唆した。
- 教師の学力期待や認知が児童の回答に対する教師のフィードバックに与える影響
→ 長時間に渡る授業観察をもとに、教師が児童の回答に対して行うフィードバックとそれぞれの児童に対する感情や認知との関連性を検討した。その結果、高学力と認知している児童に対してより肯定的なフィードバックを行うことや児童の従順さや力強さに対する認知も教師のフィードバックと関連していることを明らかにした。
- 児童の感情認知を促す方策の開発
→ 他者に対する共感性の第一段階と考えられる他者の感情認知を促すための介入方法に関して検討した。感情認知に関する知識への接近可能性を高めるために計画した具体的な方法は、児童にビデオを見せ、その登場人物の感情を推測させるというものである。その結果、当該の訓練を受けた児童は、そうでない児童に比べ、他者の感情に気づくようになっていたことが示され、この訓練の効果を例証した。

●期待される成果と応用

●想定される連携先

- ・ 小学校、中学校、高校などの教育機関